

令和6年度 ひばり認定こども園自己評価結果

1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

2. 重点的に取り組む目標・計画

- 【保護者と共に進める保育】 ひばりコミュニティデイ（地域との交流事業）を進めていき、保護者とともに子育ての楽しさを共有できる環境づくりに努める。そのなかで、教育・保育課程の周知や家庭教育の促進を図っていく。また、保護者の得意な分野で、園の活動に協力してもらえようような関係づくりを図る。
- 【地域と共に進める保育】 園から地域へのアプローチをしていき、園児が多様な体験ができるよう計画していく。
- 【関係機関との情報共有】 保護者支援に必要な情報について、関係機関との連絡を密にし、共有していく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
教育・保育目標の共通理解と周知	A	ひばりコミュニティデイのドキュメンテーション作成を通して、教育・保育を振り返り、保護者への発信意識が高まった。
保護者や地域と共に進める保育	B	地域とのつながりを深める試みを行うことができたが、地域の資源や文化を保育の中に落とし込むことが難しかった。
関係機関との情報共有、連携	B	関係機関との情報共有は進んでいるが、職員間での情報伝達が十分ではない。施設の特徴を知り、共通理解を進めることが今後の課題。
園内外研修の充実、保育の質の向上	A	多くの職員が園内外の研修に参加し、保育の質の向上に役立てることができた。

※ 評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
地域の資源を取り入れた教育・保育	職員が地域にある資源について関心をもち、教育的な視点から、園の教育・保育に取り入れる。
関係機関との相互理解を進める	<ul style="list-style-type: none">・関係機関の特色を知るための研修会に参加したり、研修会を企画・開催したりする。・相互に関係機関の見学などを行い、情報交換の場を設ける。

令和7年1月29日

評価者

那珂川町立ひばり認定こども園

園長 高野 路康